

て、裸山になっていた山頂 ました。

やたるみの平成一七年頃の 後日、生徒達より、「以

写真を見せ、これを再生さ 前説明してもらっていたシ

せるために、平成一九年か カの食害のことを、実際の

らミヤコザサの移植や周囲 場所へ行つて見るとその被

へのネット設置を行った結 害がどれだけひどいもの

果、ミヤコザサ等の植生が だったのかわかりました。

回復している状況を説明し ても、ふれあいセンター

の皆さんやボランティア

アで参加して下さい

一般の方々の活躍が森

林を再生させているこ

とがわかりました。そ

して、三本杭登山体験

で今まで知らなかった

ことをたくさん知りま

した。どうもありがと

うございました。」な

どの感想文をいただきました

た。

今回の登山体験等を通し

て、森林等の自然の良さや

大切さを感じてもらえたと

考えています。



松野西小・森林教室の様子



で種子を散布する方法につ

いて学習しました。

風を利用し回転しながら

運ばれる種子もあれば、風

に乗って運ばれる種子もあ

ります。甘い果実で覆われ

た種子は、動物に食べられ

て、フンと一緒に散布され

ます。また、「リス」や「ネ

ズミ」などの食物を貯蔵す

る習性を持った動物を利用

して、種子の移動と貯蔵、

食べ残しを期待する方法も

あります。種子のカギヤト

ゲなどにより通過する動物

の毛や皮に付着して散布さ

れるものもあり、更に、水

に浮いて流れて、散布する



三本杭で自然再生について説明

小筑紫小・森林教室の様子



種子もあります。さやがはじけたり、ドングリのように転がって散布する植物など、植物がさまざまな方法で種子を散布することを紹介しました。

その後、「カエデ」「テイカカズラ」「アルソミトラ」

(東南アジア産のウリ科の

植物)の風や翼を使って飛ぶ種子が、実際にどのような風に飛ぶかを実物を使って観察しました。

大きな翼を持つ種子「アルソミトラ」がグライダーのように飛ぶ様子に「オー」と驚いていました。

次に、「ニワウルシ」「ラワン」「マツ」「アルソミトラ」の種子の模型をスチレンシートや色紙等を使って作りました。教室や中庭、体育館で、ラワンの種子模型やアルソミトラの種子模型を飛ばすと、くるくると回りながら落ちてくる様子

みんな飛ばしていただきました。

児童から終わりの挨拶の中で、草や木が種をまく方法に、『風を利用する』、『動物を利用する』、『水を利用する』、『自分の力で飛ばす』という大きく分けて四つの方法があることがわかりました。また、東南アジアには、高さ七〇メートルもの木があり、大きな種が高いところから落ちていられるようにクルクルと回りながらゆっくりと落ちてくること、種子の特徴や色々な飛び方が分かった。今日はどうもありがとうございました。

がとうございました。』と挨拶がありました。

今回の学習等を通じて、児童の草や木、自然に対する興味への入り口となってくれることを期待しています。

この森林ボランティア活動を実施しました。

この森林ボランティア活動を実施することになったのは、NPO団体の方から登山道の洗掘が著しいとの情報をいただいたことがきっかけでした。

この登山道は、雨水により洗掘され歩きにくくなっており、登山道はずれて林内を歩く登山者が増えたため、林内の希少植物が踏み荒らされていました。

森林ボランティア活動の実施

〓地元NPO団体等と
登山道整備〓

〓徳島森林管理署〓

九月三〇日、当署管内の

三嶺国有林で地元NPO団体「三嶺の自然を守る会」六名、徳島県職員七名とともに徳島県の名峰として知

当日は、NPO団体代表による挨拶の後、当署職員から注意事項を説明し目的地へ向かいました。

がらもその笑顔に充

ビンゴゲーム大盛況

実感で満たされまし
た。

また、参加者から
は緑の募金も寄せら
れ「かがわ水と緑の
財団」に寄付しまし
た。

この他に、クイズ
ラリーにも出題者と
しても参加、森林が二酸化

炭素を吸収し、地球温暖化
防止に貢献していることや
「木づかい」の大切さを大い
にアピールできたイベント
となりました。



**森林ボランティア活動
(二ノ谷山八〇林班)
〈嶺北森林管理署〉**

九月二七日、「高松中央
ロータリークラブ」及び「ふ
るさとの森を育む会」の皆
さんと、遊々の森（高知県

土佐町との協定を締結）「い
なむら体験の森」で毎年の
恒例行事となっている、下
草刈りのボランティア活動
を実施しました。

当地は「ふるさとの森を
育む会」が平成一八年から
サクラやツツジ等の植樹活
動をしている所です。

前日からの雨も上がり、
香川県高松市から参加され
た六八名の皆さんに背の高
さまで伸びたススキなどの
下草刈りの体験をして頂き
ました。普段鎌を握る機会
が少なく、不慣れなせいか
なかなか作業が進まず苦勞
していました。また、傾斜
地の方もあり、滑って尻餅
をついたりしていましたが、
全員ケガも無く、無事に作
業を終了しました。昼食時
に、「ふるさとの森を育む会」
の方から大鍋の「猪鍋」が
振る舞われ、「珍しくておい
しい」と、大変よろこんで
頂きました。年に一度の活
動ですが学校の先生から弁
護士の方まで多種多様な職
種の人が花や樹木等にふれ
あい、興味を持って頂くこ
とで、森林が持つ様々な機
能を全身で感じてもらう絶
好のイベントでもあるので
今後も長く続けて行きたい
と考えています。



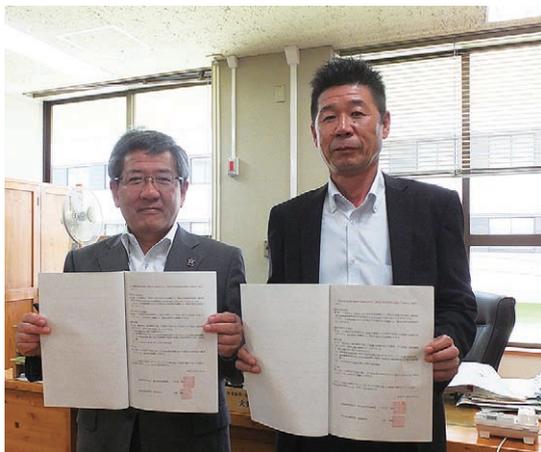
ボランティアによる下草刈り



森林ボランティア参加者の皆様

「大豊町立川地域の
森林整備推進に関する
協定」を締結!!
〈嶺北森林管理署〉

九月四日、当署管内の高知県大豊町立川に所在する仁尾ヶ内山国有林二九〇ha



協定締結後
右側…川久保嶺北署長
左側…大野高知県林業振興・環境部長

と高知県が管理している県森林整備を適切かつ効率的に行造林地三・三haは、高知県と効率的な作業道作設を核とした森林共同施業団地を設定するための「大豊町立川地域の森林整備推進に関する協定」を締結しました。

森林整備を適切かつ効率的に行い、森林資源の循環利用を行う森林共同施業団地（以下「施業団地」という。）を設定しています。

当施業団地は、水源の涵養機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林、土地に関する災害の防止及び土壌の保全機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林（山地災害防止タイプ、水源涵養タイプ）に区分されており、森林整備に当たっては、浸透・保水能力の高い森林土壌の維持及び根系、下層植生の良好な発達が確保され、林木の成長が旺盛な森林に誘導するための森林整備を推進します。

具体的には、長伐期施業、複層林施業の推進や天然生広葉樹を保残する伐採方法の採用による林床の安定化を目指した間伐を計画的に実施することとし、平成二七〜三〇年度までに間伐一四七ha、素材搬出一八、九〇〇m³、作業道一一、四六〇m新設を年次計画に沿って着実に実施することとしています。

維持管理を行うなど、相互利用が可能となるよう配慮することとしています。

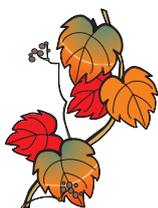
今後も、当署管内で、民有林との間で森林施業の一体化により効率的な森林整備ができるよう、民有林関係者と調整、協力しながら、取り組んでいきたいと考えています。

この協定では、大豊町立川地区の森林の公益的機能の高度発揮と資源の循環利用を図るため、森林整備の目標、森林整備の方法、路網等の施設の設置及び維持管理に関する事項などを定め、間伐等の

森林、土地に関する災害の防止及び土壌の保全機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林（山地災害防止タイプ、水源涵養タイプ）に区分されており、森林整備に当たっては、浸透・保水能力の高い森林土壌の維持及び根系、下層植生の良好な発達が確保され、林木の成長が旺盛な森林に誘導するための森林整備を推進します。

具体的には、長伐期施業、複層林施業の推進や天然生広葉樹を保残する伐採方法の採用による林床の安定化を目指した間伐を計画的に実施することとし、平成二七〜三〇年度までに間伐一四七ha、素材搬出一八、九〇〇m³、作業道一一、四六〇m新設を年次計画に沿って着実に実施することとしています。

作業道等の設置・利用・





消防防災ヘリ（りょうま）による救助訓練

定し、迅速かつ安全・有効な救助活動を実施するものです。訓練は、登山者二名が遭難事故に遭い、うち一名が負傷し行動不能となり、

消防防災ヘリコプターへの出動要請、ピックアップ場所の確保と負傷者の搬送、消防防

災ヘリコプターへの救助、訓練は、登山者二名が遭難事故に遭い、うち一名が負傷し行動不能となり、

午後、消防防災ヘリコプターが天候不良等のため運航できない場合を想定し、白髪山避難小屋直登コースにおいて、ストレッチャーにバックアップロープを取付け負傷者を搬送下山する救助活動及び背負い

三嶺系白髪山周辺で
山岳救助訓練の実施
〈高知中部森林管理署〉

九月三〇日、白髪山避難小屋（標高一七〇〇m）及び白髪山避難小屋直登コースにおいて香美市消防本部、高知県消防防災航空隊、香美警察署、高知県警察機動隊及び当署職員の、総勢三七名が参加し、「山岳救助訓練」が実施されました。

この訓練の目標は、近年

の全国的な登山者の増加により、様々な山岳事故が発生しているため実際の登山ルート等での人命救助を想定し、迅速かつ

安全・有効な救助活動を

実施するものです。訓練は、登山者二名が遭難事故に遭い、うち一名が負傷し行動不能となり、

消防防災ヘリコプターへの

出動要請、ピックアップ場所の確保と負傷者の搬送、消防防

災ヘリコプターへの救助、

訓練は、登山者二名が遭難事故に遭い、うち一名が負傷し行動不能となり、

午後、消防防災ヘリコプターが

天候不良等のため運航できない場合を想定し、白髪山避難小屋直登コースにおいて、

ストレッチャーにバックアップロープを取付け負傷者を搬送下山する救助活動及び背負い



ストレッチャーによる救助訓練（急傾斜降下）

これから紅葉シーズンに入り当署管内の様々な登山ルートを多くの登山者が利用することから、今回の訓練を活かし、香美市消防本部・高知県警察とは連携を密にし、登山者等の安全確保に役立てていきたいと考えています。